

電気通信大学 平成20年度シラバス

授業科目名	総合演習		
英文授業科目名	Comprehensive Seminar		
開講年度	2008年度	開講年次	1年次
開講学期	後学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法	講義	単位数	2
科目区分	教職科目-総合演習-		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	小林 基宏		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
なし	なし

【主題および達成目標】
<p>この授業は、教員免許取得を志す学生を対象とする「教育職員免許法施行規則」に基づく「総合演習」の科目で、「教職向けの教育工学的マルチメディア手法の基礎研究」を学習内容として、初中等教育現場での実践に基づいた解説とその演習等を目標にしています。</p> <p>授業目標に則り、以上のような知識の習得およびスキルの開発を促進できるように、印刷教材・VTR・プロジェクター視聴等を盛り込んで学習を進めます。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
教職課程における各科目を履修する過程にあることが前提となります。

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
教職課程における各科目を履修する過程にあることが前提となります。

【教科書等】
<p>参考書:文部科学省「特色ある教育活動の展開のための実践事例集」(大日本図書)</p> <p>小林基宏「図解とフローチャート方式による電気、機械、化学実験」(全7巻)、(技報堂出版)</p>

電気通信大学 平成20年度シラバス

【授業内容とその進め方】

この授業では次のような授業内容に関して、印刷資料、VTR等の視聴覚教材を導入し、学習内容の理解を定着させるための小論文課題を適宜実施しながら分かりやすく学習を進めていきます。

1. 「学習基盤のコミュニケーション」

学習活動の基盤づくり・相互の関係・学習のステップ・学習意欲の啓発方法・授業実践のポイント・発問のパターン・五感の活用・リスニングとウォッチング・情報伝達授受の心理学的考察ほか

2. 「教育工学的マルチメディア手法」

教育工学の考え方・歴史と定義・授業のスキル開発・マイクロティーチング・投げかけ・レスポンス・KR・CUEの効果と形態心理学・教育のシステム化・評価の方法ほか

3. 「コンピュータと情報教育」

CAI・CMI・eラーニング・ネットワーク・アルゴリズムの演習(フローチャート作成法)・パソコンプログラミング手法の注意点・アプリケーションプログラムと法律・教員採用試験の内容・質疑応答ほか

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

(a)評価方法

適宜実施する小論文課題提出の論述内容、遅刻出席等の学習態度等を勘案し、総合的に評価します。

(b)評価基準

学習内容を深く理解し、教職の重要性を認識しつつ、学校教育に携わる使命感をもって職務を遂行しようとする意欲や心構えができていること。

【オフィスアワー：授業相談】

授業内容の理解促進等のために、授業時間外で学生の質問・相談を、電話などで事前に予約を取った上での面談や書簡、電子メールで応じます。電話番号や宛先、メール・アドレスは授業で案内します。

【学生へのメッセージ】

将来的に「生徒が未知のもの、新しいことに興味・関心を抱くように導くのが教師の使命」ということを充分に理解し、「学習者支援」のための知識・能力・スキル開発などを授業を通じてしっかり考察し理解していけば難しい内容ではありません。

【その他】

とくになし。